

## 光星高と八学大連携事業



八戸学院大の学生に交じり講義を受ける八戸学院光星高の生徒たち(右側)

### 高校生、大学の講義を受講

### より高いレベルで学習

八戸学院光星高(小野崎龍一校長)の生徒が、八戸学院大(法官新一学長)の講義を受

講できる連携事業が17日、始まった。学校法人光星学院の系列校4校が3月に締結した協

定のー環で、各講義の試験に合格した高校生には、高校や大学の単位が認定される。

同事業は、高校生に専門性の高い大学の講義に触れさせることで、学習意欲の向上を図る狙い。2年生の希望者が対象で、本年度前期は18人となった。「総合的な学習」の時間に、数学や情報処理などの講義を受講する。

同大で行われた開講式では、法官学長が「高校生の皆さんが、大学で学ぶことを歓迎したい」とあいさつ。同高2年の古川楓さん(16)が生徒代表として「大学での講義を生かし、知識と自分を磨くことを誓います」と宣誓した。(佐藤雄)